

## 北半球のゼスプリキウフルーツが増加

[FreshPlaza 2025年11月27日](#)

季節補完的なゼスプリ世界供給(ZGS)プログラムが進行中であり、今年はフランス、イタリア、ギリシャ、韓国、日本の果樹園から約3,300万箱、11万8,800トンが出荷される予定である。これには、前のシーズンより30%多い約2,600万箱(9万3,600トン)のゼスプリサンゴールドキウフルーツと、ギリシャ及びイタリアから調達された700万箱(2万5,200トン)のゼスプリグリーンが含まれる。

ゼスプリの北半球供給担当執行役員のニック・カートン氏によると、サンゴールドの出荷量の増加は主に良好な生育条件によるものである。特にイタリアは、サンゴールドと有機サンゴールドを昨年より35%多く供給する。ニュージーランド産サンゴールドの欧州での販売が完了したことで、同社は同地域における北半球産サンゴールドの出荷に移行した。アジア及び米国でのZGSサンゴールドへの移行は12月に予定されている。ゼスプリグリーンもニュージーランド産グリーンの出荷終了後これに続き、欧州での販売は既に進行中である。

北半球での生産は、取引先と小売業者に年間を通じて供給を維持するというゼスプリの重要な目標の一部を形成している。カートン氏は、これらの地域からの今後の販売量のさらなる増加を期待していると述べた。

2024年末のニュージーランドでの生産者投票を受けて、北半球での生産にさらに420ヘクタールのサンゴールドを割り当てる作業が1月から続いている。その面積はイタリアが300ヘクタール、ギリシャが70ヘクタール、フランスが40ヘクタールで、残りは韓国に予定されている。また、これによりギリシャで初の商業的サンゴールド生産が始まることになる。ゼスプリはさらに、イタリアで今後2年間に170ヘクタールの商業栽培が承認されている赤肉のゼスプリレッド品種を欧州市場に供給できるようになる。

カートン氏は、毎シーズン、サプライチェーン上の連携企業と協力して生産性の最適化と一貫した品質基準の確保に取り組んでいると述べた。北半球からの出荷が始まる今、同氏は新たな販売期間の着実な開始を期待している。

## 韓国 シャインマスカット8トンを台湾へ輸出

[FreshPlaza 2025年11月27日](#)

韓国慶尚南道居昌郡は、26日に台湾向けシャインマスカット輸出の出荷式を開催したと報告した。式典は慶南北西部広域青果物流通センター(APC)のブドウ選果場で行われ、ク・インモ(具仁模)郡長、果樹協同組合の代表、輸出農家、その他約30名が参加した。

今回の出荷はブリックス値16以上のシャインマスカット8トンで、台湾の小売店及びスーパーマーケットに供給される予定である。郡によると、今後10日から15日間隔で約5回の追加の出荷を計画しており、今年の総輸出量は40トンに達する見込みである。

居昌産シャインマスカットは、韓国内及び台湾において高い糖度、均一な品質、体系的な生産体制で評価されている。今年はシャインマスカットの国内市場価格の下落と消費の減少により市場環境が厳しかったが、生産者は輸出量を維持した。輸出企業は品質管理と海外での販売努力を通じて輸出市場を開拓した。

ク郡長は、「居昌産シャインマスカットは、優れた栽培技術と徹底した品質管理により海外で高い評価を得ている」と述べて、生産者と輸出業者が規格を守っていることを高く評価し、さらに「居昌郡は農家所得向上のため、海外販路の拡大及び輸出物流の支援等の行政支援を強化する」と付け加えた。

居昌郡は2026年産のブドウ輸出検疫団地を指定し、輸出用生産基盤を強化する計画であり、これを土台として米国等の新たな輸出市場の開拓を推進する方針である。

出典: AsiaBusinessDaily